

富山県立乳児院通信



— 令和7年 秋号 —

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

児童相談所
虐待対応ダイヤル



いちはやく

189

「もしかして？」ためらわないで！

いちはやく

189



天気の良い日に環水公園に散歩
に行きました◎落ち葉やどんぐ
りを拾って秋を感じました♪

〈富山県立乳児院ってどんなところ？〉

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児
(0～3歳まで)を保護者にかわって24時間養育する施設です。
(児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。)



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

お 名 前	
<7月>	吉田さん（黒部市） ZENITH JAPAN（株）（富山市） 古井さん（富山市） 北陸中日新聞。社会事業団（金沢市）
<8月>	斉藤さん（富山市） 吉田さん（黒部市） 中澤さん（戸田市） 井形さん（富山市）
<9月>	丹保さん（富山市） （株）KANAYA 代表取締役社長 廣田さん（富山市）

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

◆寄付金、未使用衣類、未使用バスタオル、未使用シューズ（11.5cm～15cm）、おむつ等のご寄付をお待ちしています。

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理 念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる
良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

病児保育室 お ひ さ ま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため
集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする
保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 8:00～17:30
(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)

利 用 料 1回2000円（昼食・おやつ代含む）
とやまっ子子育て応援券の利用できます。
富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。

お問合せ (080) 8697-2773(直通) **電話受付時間** 7:30～17:00

※但し状況に応じて電話に出られない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※受診後、診療情報提供書の病名を確認し予約電話の際にお伝えください



朝晩の寒暖差から体調不良になりやすい時期です。
睡眠・食事などの体調管理とともに手洗い等、予防習慣を実行し、風邪予防に努めましょう。

管理栄養士より

もぐもぐだより

乳児院の庭で子どもたちが植えたミニトマトがたくさん採れました。

生のミニトマトも美味しいのですが、毎日では子どもたちも飽きてしまいます。そこで、目先を変えて「ミニトマトを使ったパスタ」を作りました。

にんにくをほんの少し使って香りを出し、ケチャップ味で炒めると食堂にはおいしそうな匂いと音が広がりました。匂いや音は食欲を促す重要な要素です。今後も五感を使って食を楽しむことができる機会を増やしていければと思います。



これからの行事予定

12月

クリスマス



富山県里親支援機関事務局

個別相談会も
随時開催しています



毎年10月の里親月間にあわせ、平成23年より始まった里親制度普及啓発ラジオ放送「ひろめよう里親とやま～心がつながれば家族～」は今年で15年目を迎えました！これまで、延べ120名を超える里親さんにご出演いただき、里親さんの声をお届けしてきました。そして富山県でもようやく里親家庭が100世帯に届きましたが、それでもまだ里親は足りません。

里親さんからのメッセージ

実際に活動を通して感じたことは、とても楽しい事ばかりなのと、子どもからたくさん学んだ事、そして今まで経験したことがなかった充実感や喜びを体験させてもらったことです。また、子どもに愛情を持って接することで、自然と絆が芽生えました。

私たちは地域や職場の方々にもいつも配慮していただいていた、本当に感謝しています。皆さんの理解があると、里子の味方が増えた気がして嬉しいです。もし、近くに里親家庭があれば、そっと声をかけてくれると嬉しいです。



富山県立乳児院
里親支援 HP

「いつか」を「いま」に。いま、里親になろう！



運動あそび

9月18日に運動会（運動遊び）を行いました。まずはお菓子取りレースで、洗濯バサミについている好きなお菓子を取ります。なかなかお菓子が取れない子どもや、取ったお菓子が「嫌だったー」と泣き、好きなお菓子に交換する子どももいました。大好きなペンギン体操のあとは、日本の名所に見立てた場所で各々遊びます。琵琶湖に見立てたビニルプールでは、沢山のボールを舐めたり転がしたり、富士山に見立てたカプセルハウスでは、頑張って登り自分で拍手する姿が見られました。いつも遊んでいる玩具ですが、少し趣向を変えるだけで、「登れるまで頑張るぞ！」「もう一回タッチするぞ！」というやる気に繋がり満足そうな表情が見られました。

昼食はお好み焼きとフルーツポンチです。おかわりしてお腹も満足♥でした。



えんそく

10月10日、可愛い3人の子どもたちのために空がプレゼントしてくれたような、みごとな秋晴れの中、立山町防災児童館複合施設「アカリエ」へ秋の遠足に出かけました。

まずは外の広場にある大きな遊具で、普段なかなかできない、全身を思う存分使った遊びを楽しみます。ブランコにしっかりつかまり、風を切る楽しさを味わうAちゃん、長い階段を一生懸命登り、大きなすべり台を何度も何度も楽しむBちゃん。いちばん小さなCちゃんは慣れない場所に緊張した様子でしたが、少しずつ職員と一緒に遊びはじめます。

後半は木のぬくもりが温かな施設の中へ。思い思いに絵本やままごと、パズルなどを楽しみます。居合わせた他のお子さんやご家族と「どうぞ」「ありがとう」と微笑ましいやりとりもできました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、帰りの車で「もっとあそびたかった…」とつぶやくAちゃん。名残惜しかったね。でも、帰ってからも大きな楽しみが待っています。院で待っていた子どもたちも加わって、お外の気持ちよい風を感じながらの青空ランチです。栄養士が心を込めた、色とりどりのサンドイッチやミートボールの可愛いお弁当をお口いっぱい頬張り、みんなご満悦。お腹も心もいっぱい満たされてのお昼寝は、それぞれ楽しい夢がみれたかな？大満足な秋の一日となりました。

